

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果について

晩冬の候、寒さの中にも春の兆しを感じられる頃となりました。皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは本校教育推進のため、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。

さて、平成28年度の「全国学力・学習状況調査」の結果につきましては、学校だより11月号の速報版でお知らせしたところですが今回は細かく分析した結果をご報告させていただきます。

尼崎市は、小学校41校の6年生計3453人、中学校17校の3年生計3125人が参加し、国語と算数(数学)を実施しました。尼崎市は、国語と算数(数学)のいずれも平均正答率でやや全国平均を下まわりましたが、テストを初めて実施した平成19年度より差は着実に縮まっています。このような状況の中で、潮小学校は、今年度もすべての項目が上まわり、よい成績を残すことができました。学習状況調査は、全85項目の質問に児童が答え、その結果をもとに学習定着度や学習状況について数字で表し、客観的に課題等を把握・分析できるようになっています。

これらの結果を受け、本校でも児童の学習定着度や学習状況について客観的に把握し分析しました。そして、今後の指導体制や学習方法、学習環境の工夫改善に役立たせたいと考えています。

今回の結果をもって本校のすべての学力・学習状況を表すものではありませんが、この結果を踏まえて、学校・家庭が学力向上や生活改善に向けて、いっそうの取り組みを進めなければなりません。今後ともご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(尼崎市全体の分析は、あまっ子ぐんぐん第27号をご覧ください。)

1 全国学力調査結果の概要

(1) 平成28年度の平均正答率(今年度より数値は四捨五入して整数値で表しています)

	潮小学校	尼崎市	兵庫県	全国	
国語 A(知識)	76	70	73	73	(問題A = 身につけておかなければ次の学年等で学習内容に影響を及ぼす内容の問題、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などの問題)
国語 B(活用)	63	55	58	58	
算数 A(知識)	84	77	77	78	(問題B = 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力などを求められる問題、応用力が試される問題)
算数 B(活用)	52	45	47	47	

(2) 各教科の考察

国語科に関しては、問題A・Bともに全国水準を超えていますが、本校の正答率を分布図で表すと2つの山ができました。つまり、上位層と中位層がはっきりと分かれています。

中位層のできていない問題Aを具体的に分析すると、①既習の漢字をしっかりと覚えていない児童が2割以上いること②ローマ字で表記されたものを正しく読むことができない子が4割くらいいる③自分の考えをまとめて書く力はついていますが、自分の考えと相手の考えとの共通点や相違点を捉える力は弱いことがわかりました。問題Bでは、インタビューの長文に対して、相手が述べている意図を理解し答えることができる子が少なかったようです。以上、具体的に挙げた内容は中位層ほどできていないという結果から、今後、いかに中位層を伸ばすかということが課題として取り上げられました。この課題を解消するためには、①繰り返し練習②読書を通して読み取る力をつける③家庭学習の習慣化④学習意欲を高める授業への参加等が必要です。これらは学校の教育活動だけでは限界があります。ご家庭のご協力が不可欠です。よろしく願いいたします。

算数科に関しても、問題A・Bともに全国水準を超えていますが、本校の正答率を分布図で表すと問題Aと問題Bでは異なる結果が見られました。問題Aでは、正答率が上位から中位の上を占め、基礎学力の高さがうかがえました。しかし、問題Bでは、中間層にかたまりができ、あと一歩伸び悩んでいることがわかりました。問題Bからは、活用力、応用力の弱さが見られます。問題Aを具体的に分析すると、①全体的に正答率が高いが、図形に関する問題が弱いことがわかります。補助線を引いたり、横に図を書いてみるなどしている形跡がなく、ただ問題の図形を見ているだけの人が多いのがわかります。他の計算問題等でも、筆算や検算の跡が見られない問題が多くありました。良くできている子は、印を付れたり、計算を書いたりと何らかの書き込みを

しています。②割合を求める問題は苦手意識が強いです。これも①と同様で、求めるときに図を書いたり数直線をかいたりしたら考えやすくなります。また、問題 B は、無回答率が高いのが如実に出ています。全 13 問のうち 9 問において無回答率が全国平均より高くなっていました。大きな課題ですが、今後の取り組みとしては、①何とかして答えを導き出そうとする粘り強さを身につける、そのためには、数多くの問題、多様な問題に挑戦することも大事です。②ヒントを導き出すために、その問題に合った図や補助線等が使えるようになることです。そのためには、今後は基礎基本の確実な定着と思考力の向上を図る必要があることがわかりました。③問題数が多く決められた時間に仕上げられない子もいます。中学年(3～4年)の頃から問題慣れし、処理の仕方(わかるところから片づけていくなど)を身につけることが大事です。

2 学習(生活)状況調査(数値は「はい」「どちらかといえばはい」合計の%)

(85項目の質問から大事な項目を抜き出しています。)

(単位は%)

質問内容	H28潮小	H28兵庫県	H28全国
1 難しいことでも失敗を恐れず挑戦していますか	△61.6	74.1	76.1
2 将来の夢や目標を持っていますか	82.7	85.1	85.3
3 自分には、よいところがあると思いますか	71.2	76.5	76.3
4 みんなで協力してやり遂げ、嬉しかったことはありますか	91.5	85.3	86.3
5 人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.3	93.9	93.8
6 学校に行くのは楽しいと思いますか	80.8	85.8	86.3
7 学校のきまりを守っていますか	82.7	92.4	91.5
8 家の人に学校の出来事について話していますか	75.0	80.3	79.2
9 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.1	96.5	96.6
10 今住んでいる地域の行事に参加していますか	△40.4	65.3	67.9
11 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	55.8	58.6	62.2
12 家で、学校の授業の予習をしていますか	38.5	39.5	43.3
13 家で、学校の授業の復習をしていますか	46.2	46.9	55.2
14 授業では友だちと話し合う活動は行っていませんか	71.2	75.4	77.1
15 授業の始めにめあてが示されていませんか	92.3	85.6	87.6
16 授業の最後に学習内容のふり返りを行っていませんか	86.9	72.9	76.1
17 読書は好きですか	77.0	73.3	74.6
18 新聞を読んでいますか	23.1	26.0	24.0
19 国語の勉強は大切だと思いますか	88.4	92.0	91.3
20 国語の勉強は好きですか	61.6	58.1	58.3
21 国語の授業はよくわかりますか	75.0	79.5	80.7
22 算数の勉強は好きですか	63.4	62.5	66.0
23 算数の勉強は大切だと思いますか	90.4	90.5	91.9
24 算数の問題が分からない時あきらめずにいろいろな方法を考えますか	78.8	80.2	81.0

〈学校生活〉

学校に行くのは楽しいと回答した児童の割合は80.8%で、全国や兵庫県の平均よりやや低かったようです。

〈自尊心を高める〉

自尊心を高めることが本校の大きな課題です。徐々にではありますが数値は上がっていますので、さらに伸ばしてほしいものです。「失敗を恐れず挑戦する」気持ちがまだまだ弱いです。もっと自分に自信をもちましょう。

〈家庭学習〉

「家庭において自分で計画を立てて勉強をしている」児童はやや少ないようです。家庭での予習復習は少しずつ伸びてきています。家庭学習の時間が長いほど、学力の伸びも比例しています。家庭学習の仕方や内容については、本校が取り組んでいる「自主学のとびき」を参考にしてください。今後は①家庭学習の計画をしっかりと立てること②自主学を利用して予習復習にも力を入れること。これらの家庭学習の取り組みをさらに推進したいと思います。

〈地域や家庭のつながり〉

昨年に続き地域行事への参加は極端に低い数値になっています。本校地区は地域行事も多くありますので、地域行事へも積極的に参加してほしいと思います。

〈全体を通じて〉

本校では「潮スタイル」という授業形態を取り入れています。その取り組みが学習習慣や学習規律に良い結果をもたらせています。今後もさらに「潮スタイル」を充実させていきます。小学校では、生活規律の確立はもちろんです。中学校進学に向けて学習の基礎基本をしっかり身につけることが求められます。そのためには、学校だけではなく家庭生活や家庭学習も大事なポイントとなってきますので、今後ともお子様の教育活動へのご協力をお願い致します。